



祝辞

川崎市多摩区
佐藤直樹 区長

「つながる新聞」第100号の発行、誠におめでとうございます。また、日頃、地域の絆を深める活動を続けてこられた「ながさわまちづくり協議会」の皆様に、心より感謝申し上げます。

私は長沢に隣接する菅生ヶ丘で育ち、子供の頃遊んだ平瀬川や長沢諏訪社、高校サッカーチームの仲間と走った旧フコク生命グランド周辺の坂を、とても懐かしく思い出しますし、今回多摩区長として100号発行にあたりお祝いの機会をいただいたことに長沢の皆様との縁を感じております。

今後も「つながる新聞」によって、長沢の魅力と温かさが広がり、さらに、長沢の地域の皆様のつながり、「和」が広まることをご祈念申し上げます。



挨拶

長沢まちづくり協議会
末吉一夫



処暑の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申しあげます。

「ながさわつながる新聞」創刊100号を発行することが出来ましたことは、購読者、情報提供者、関係者の皆様のご理解、ご協力をいただき、続けることが出来ましたことに心より感謝申し上げます。

内容につきましては地域の出来事、イベント情報、歴史等お知らせさせていただき、地域のつながりを生かせる新聞を目指して参りました。

今後とも皆様のご協力をお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げあいさつとさせていただきます。



『お祝いのメッセージ』

長沢商店会
原山修 会長

創刊100号おめでとうございます。編集員の皆さまにおかれましては、毎号毎大変な思いで発行されているのだと思います。お察しいたします。

長沢商店会が活性化するためには、まず、長沢地域が元気で、楽しく、賑わっていかなければなりません。

そのために長沢商店会では、年間を通してさまざまな活動を行っています。

いつも「つながる新聞」では、当商店会の活動などを紹介していただき感謝しております。

商店会に元気と賑わい活力が湧けば必ず街の活性化につながると信じています。つながる新聞とともに歩んでいきたいと思っています。

諏訪社崇敬会
松澤武雄 会長

つながる新聞、創刊100号おめでとうございます。継続は力とよく言われますが正にこの努力は尊敬に値する偉業だと思います。つながる新聞は人、地域、更に学校、そして商店をつなぐ新聞であるとお聞きしております。更にまた、ながさわ地域で守り継承すべきは清らかな平瀬川と伝統文化行事である盆踊り大会、夏祭り、秋祭り、音楽祭、年初めの「どんど焼き」などの取材は広範囲に活動された証であると新聞から読み取れます。

ながさわの未来は人々の心と心が強く通い合う地になるようにつながる新聞が一役を担われますよう期待をしております。

長沢自治会
米山福吉 会長

創刊100号誠におめでとうございます。100号発刊の今日まで心を込めて編集に当たられたご努力の賜物であると存じます。

発刊に関わられた皆様の熱意とご労苦に深く敬意を表します。

さて、長沢自治会としても自治会イベントの告知や報告など紙面に掲載させていただき、会員のみならず、広範囲に当自治会の活動が伝わるのはうれしいことです。

紙面から地域のつながりが確実にあると確信しております。今後も200号を目指してご活躍ください。

編集
高橋秀一

「つながる新聞」は、多方面のご協力をいただき創刊100号を迎えることができました。関わった皆様に感謝いたします。

創刊は、2014年8月20日ですから11年前になります。100号も8月20日合わせたかったのですが、1週間のびてしましました。これも素人仕事だとご理解いただければ幸いです。

創刊から弊社スタッフが編集を担当しています。プロ仕様の紙面ではないことをご理解いただければ幸いです。

高橋工務店

印刷
原山昇

つながる新聞はおかげさまで創刊100号を迎えました。はじまりは「ながさわ魅力伝え隊」。

少しずつ読者も増え、今では長沢まちづくり協議会が発行を引き継ぎ、地域に笑顔を届けています。

これまで応援してくださった皆さま、本当にありがとうございます。

これからも印刷を通じて、地域と人をつなぐお手伝いを続けていきます。

ASA 南生田

にやあちゃん
篠崎美和子 様

「つながる新聞」発刊100号おめでとうございます。長沢地区に住み始めて10年、4年前から短文とマンガを担当しています。合わせて地域行事にも微力ながらお手伝いさせていただいてます。

諏訪社の初詣、盆踊り、祭礼には多くの方で賑わって驚くほどです。

これは地元の方のご尽力と私のような移住者を受け入れてくださる懐の深さがあると感じます。

これからも伝統ある行事に老若男女が集う活気ある地域であるよう願います。

